

# ニホンジカ・イノシシの 生息状況調査結果の報告



株式会社 野生動物保護管理事務所

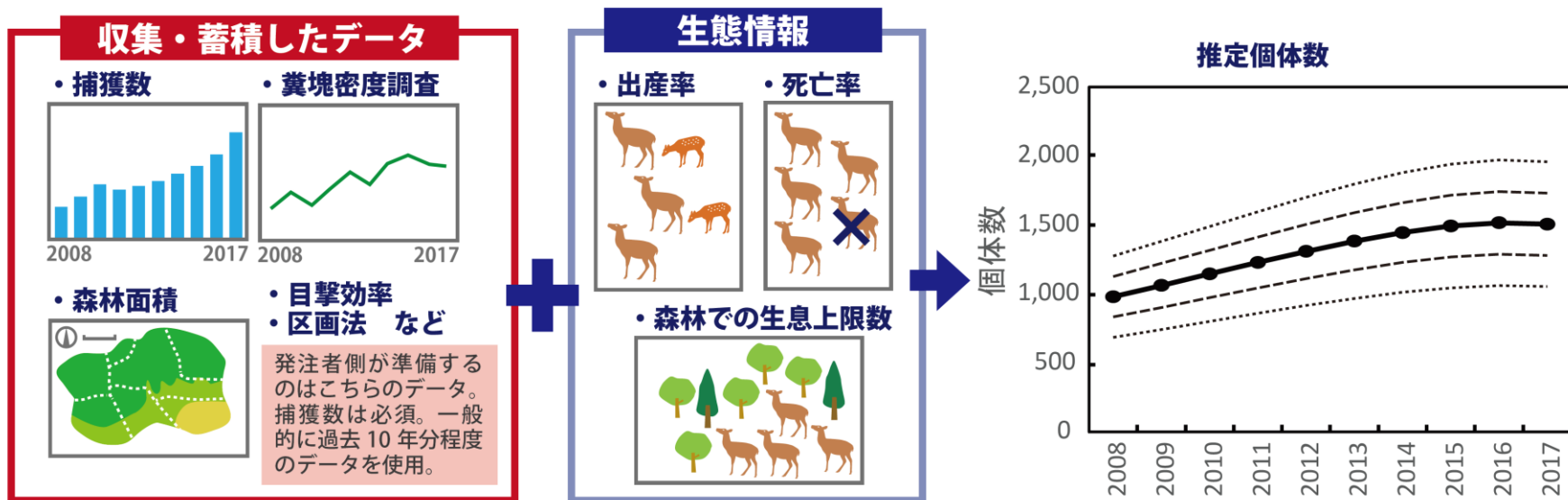
# この時間の内容

## 【二ホンジカ・イノシシ】

- ・ 個体数推定結果と将来予測結果報告

# 個体数推定方法の概要

- ・ 野外の個体数はすべてカウントすることはできない
  - ・ 生息動向（増減）を反映すると考えられるデータは取得可能
- 収集データと既知の生態情報から個体数等を推定



## ①個体数の動向を表す式

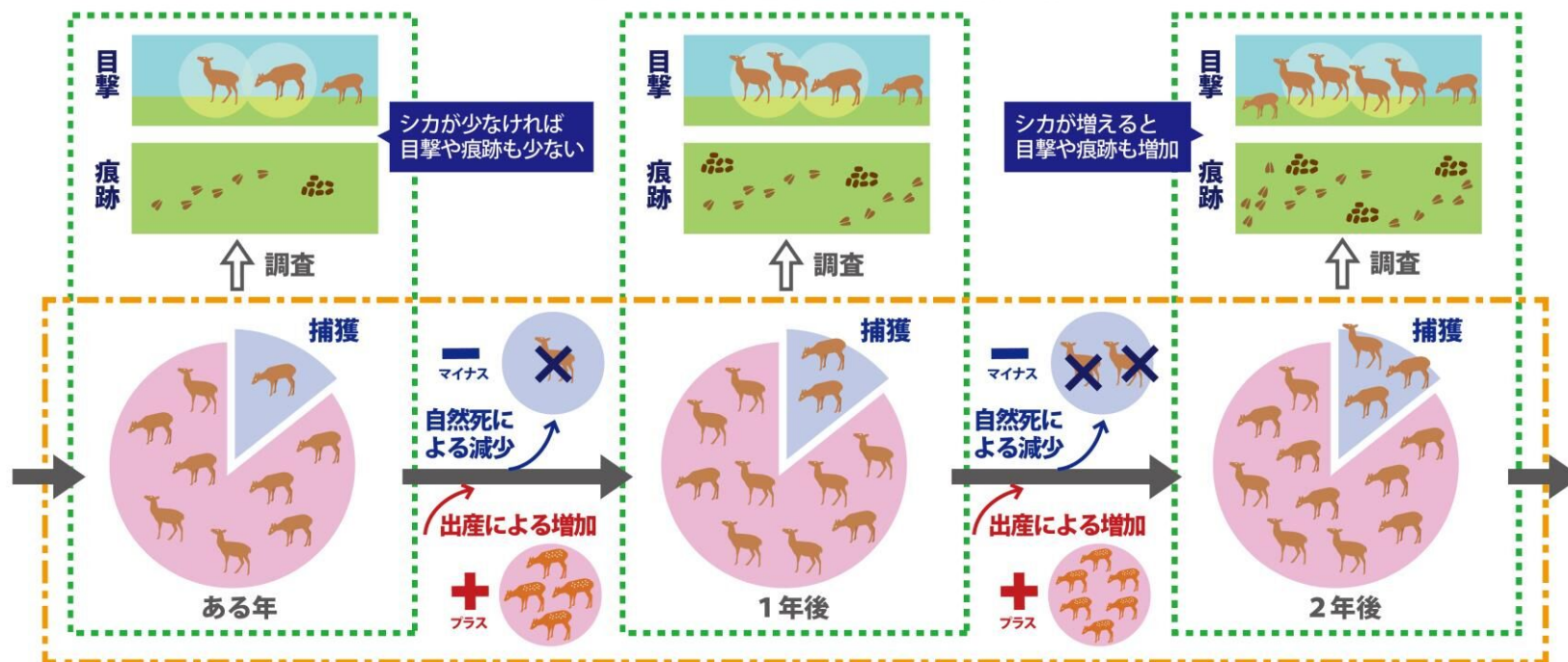
横の式： ある年の個体数 = 前年の個体数 × 年間増加率<sup>(注)</sup> - 捕獲数

## ②個体数と調査結果の関係を示す式

縦の式： ある年の調査結果 = ある年の個体数 × 比例係数

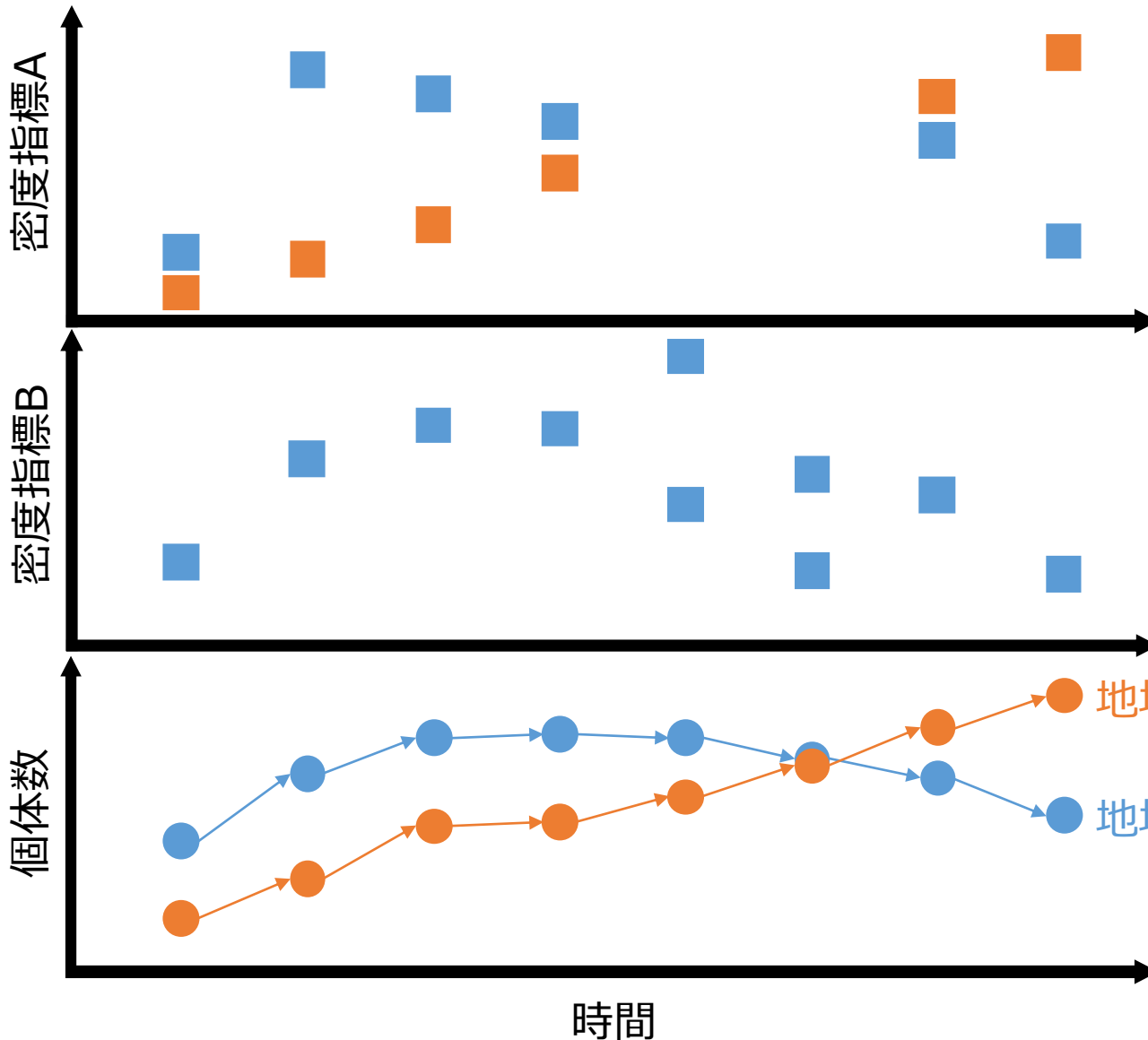
▶ 式と収集データにもっとも合う個体数等が推定される

### 縦の式：個体数と調査結果の関係を示す



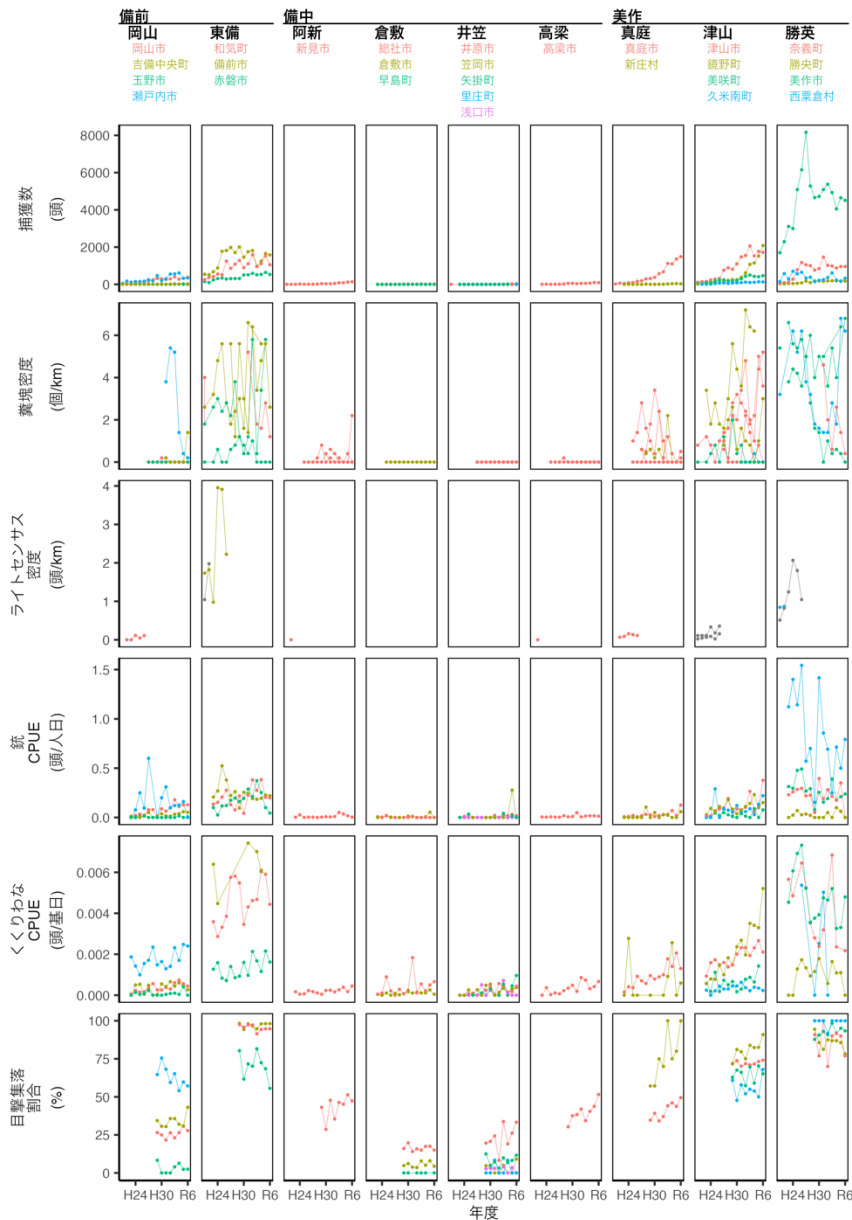
### 横の式：個体数の動向を表す

# 方法のイメージ



- 密度指標が大きければ個体数も多くなる
  - 密度指標が増加傾向なら増加傾向に、山型なら山型な傾向に
  - 密度指標が大きい地域は個体数（生息密度）が多くなる
- データのばらつきを取り除ける
- 一部がなくても良い
- 複数の密度指標を利用可

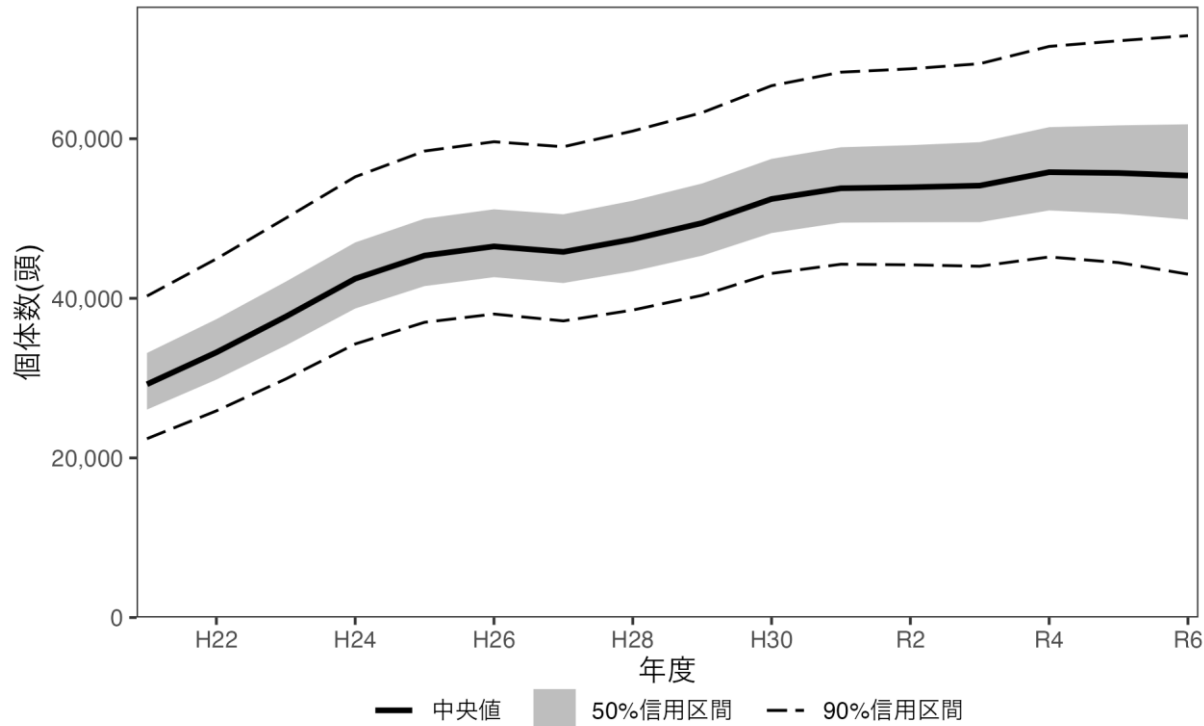
# ニホンジカ：推定に使用したデータ



- 期間：平成21～令和6年度
- 密度指標：
  - 糞塊密度調査結果
  - ライトセンサス密度
  - 捕獲効率(CPUE)
  - アンケート調査結果
- これまで収集された充実したデータを活用



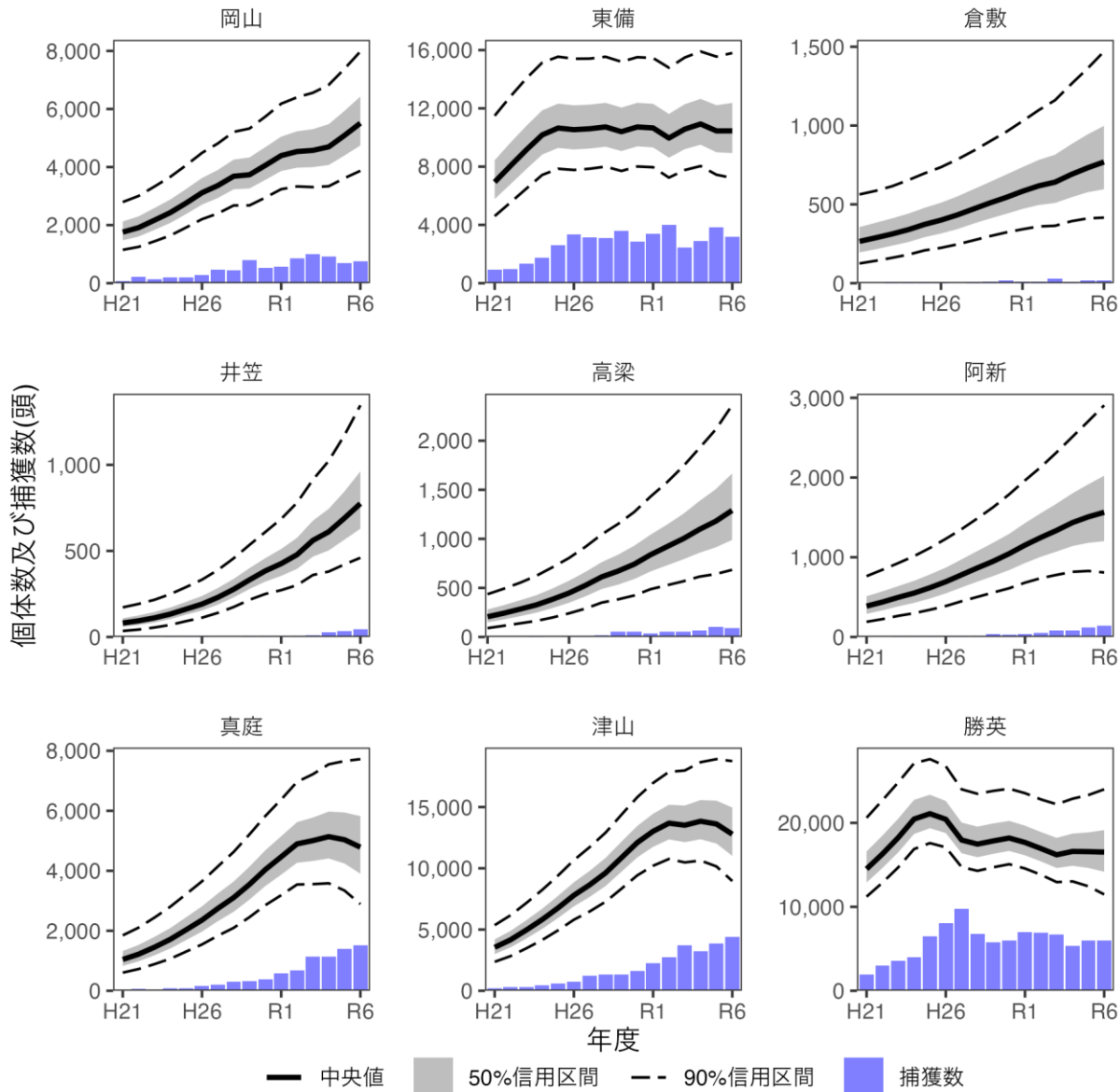
# ニホンジカ：全域の個体数



- 令和6年度末：55,377頭(43,028～72,911)
- 増加傾向から横ばい傾向



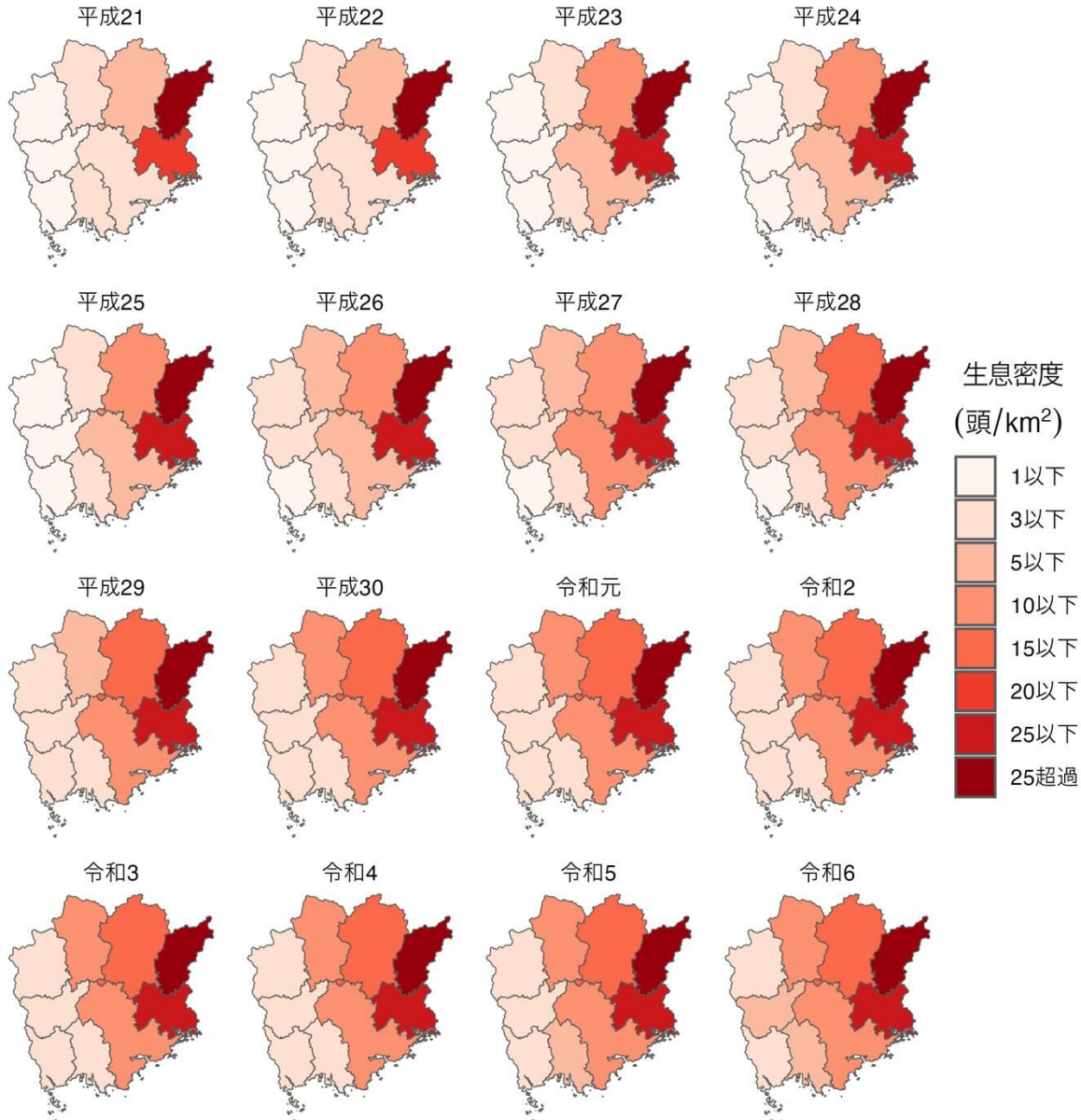
# ニホンジカ：旧地方振興局別の個体数



- 岡山、倉敷、井笠、高梁、阿新
    - 増加傾向
  - 東備
    - 横ばい
  - 真庭、津山
    - 近年減少傾向？
  - 勝英
    - 減少傾向
- 地域ごとに傾向が明確に異なる



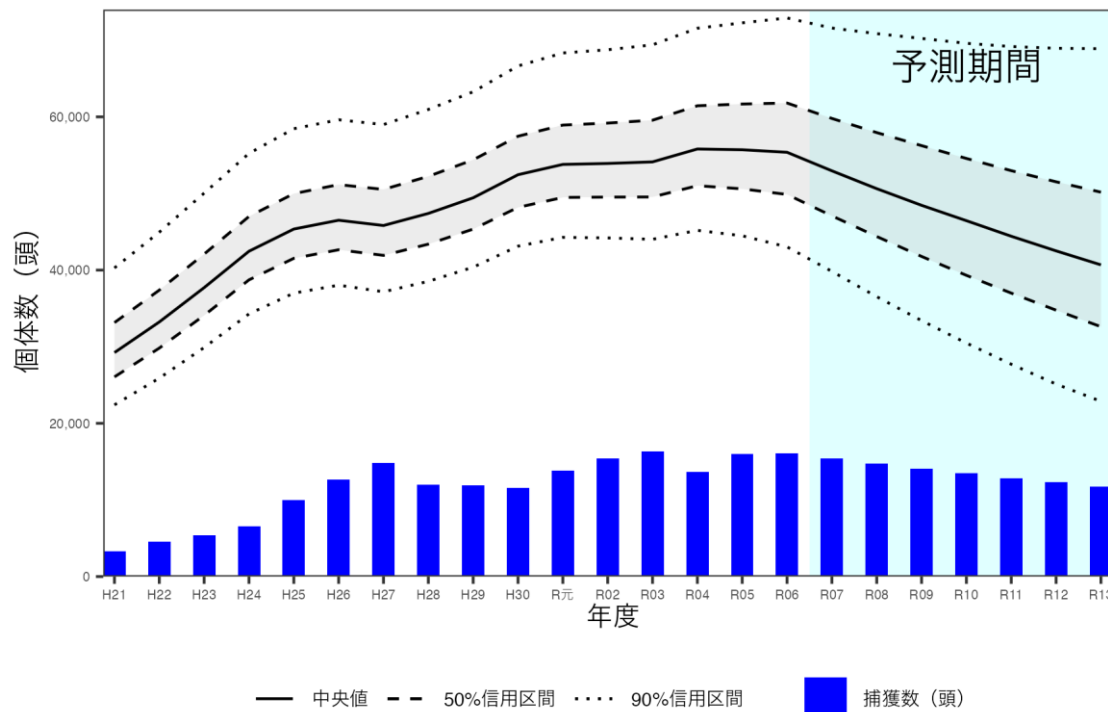
# ニホンジカ：旧地方振興局別の生息密度



- 東部：減少傾向
- 西部：増加傾向



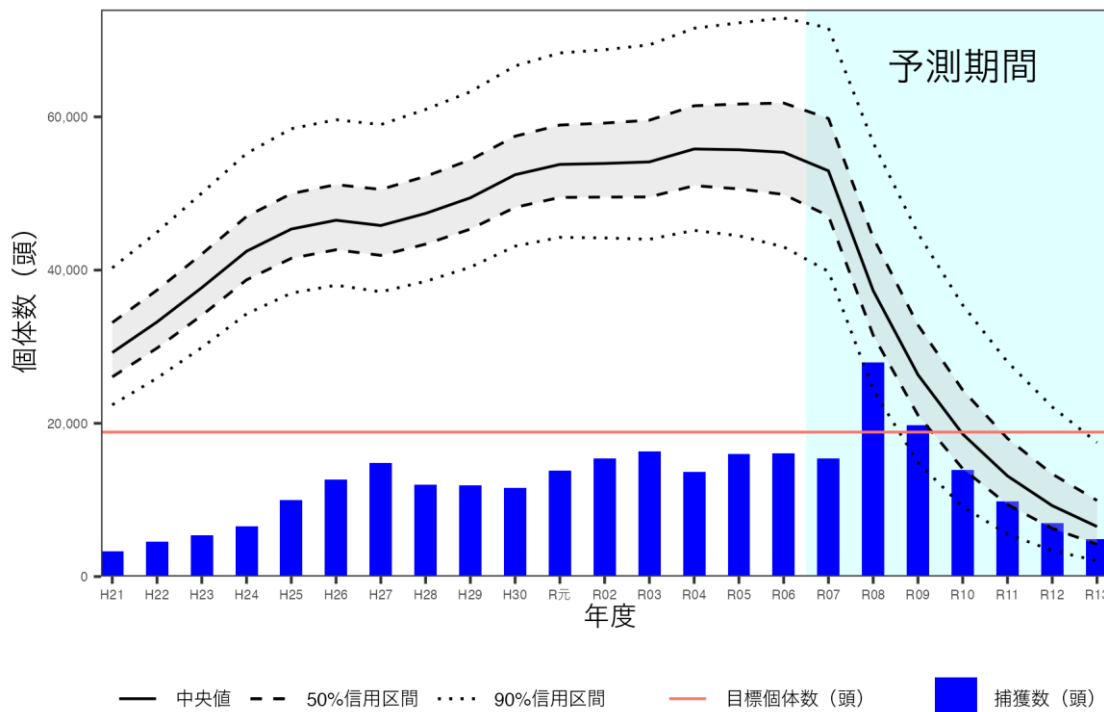
# ニホンジカ：現在の捕獲率を維持できた場合



- ▶ 減少傾向に推移、令和13年度には40,684頭（中央値）と予測
- ▶ 環境省の半減目標（令和10年度に18,856頭）の達成は難しい



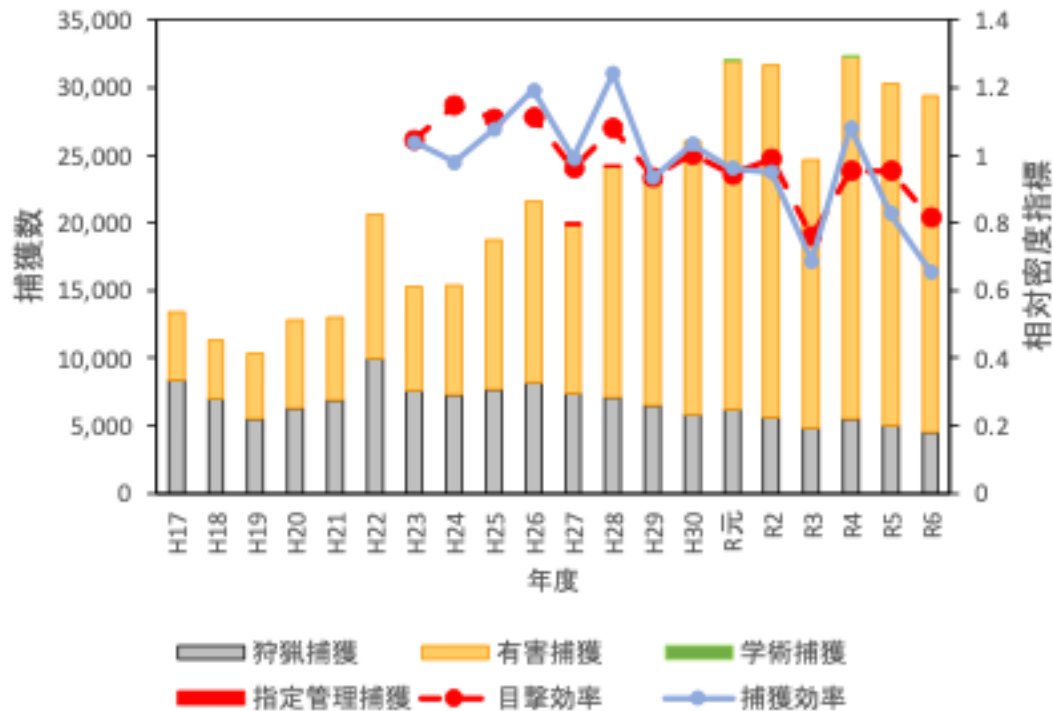
# ニホンジカ：環境省の半減目標を達成するには？



▶ 現在の1.90倍の捕獲率が必要



# イノシシ：推定に使用したデータ

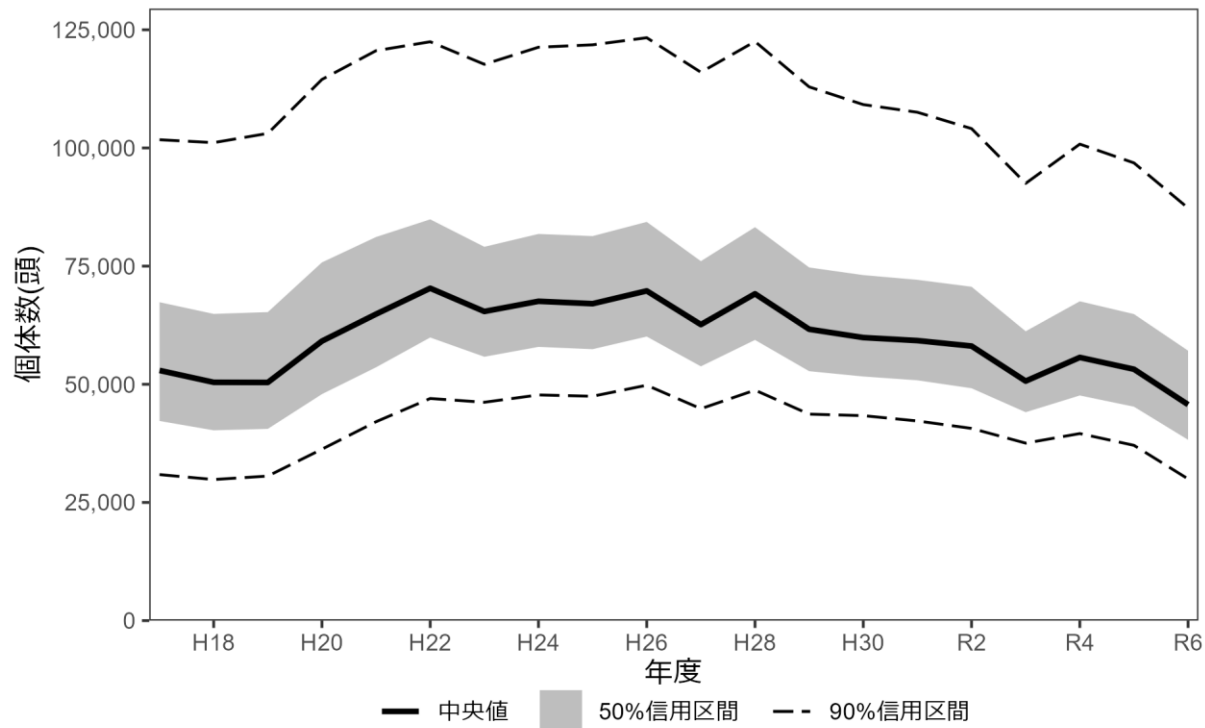


■ 目撃効率、捕獲効率は平均を1とする相対値で示した

- 期間：平成17～令和6年度
- 密度指標：
  - 捕獲数
  - 目撃効率
  - 捕獲効率
- ニホンジカと異なり、モニタリングが難しくデータが不十分
- 県全体を1つの地域とみなして推定



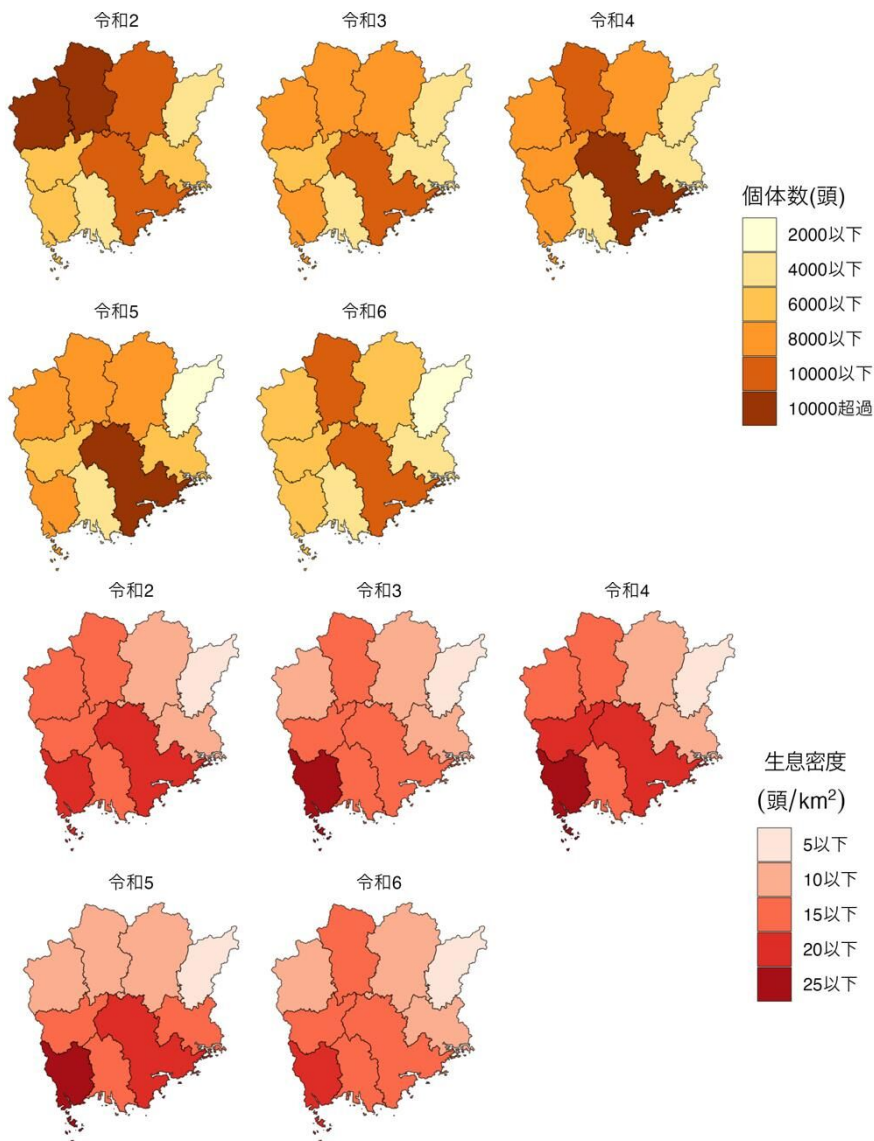
# イノシシ：全域の個体数



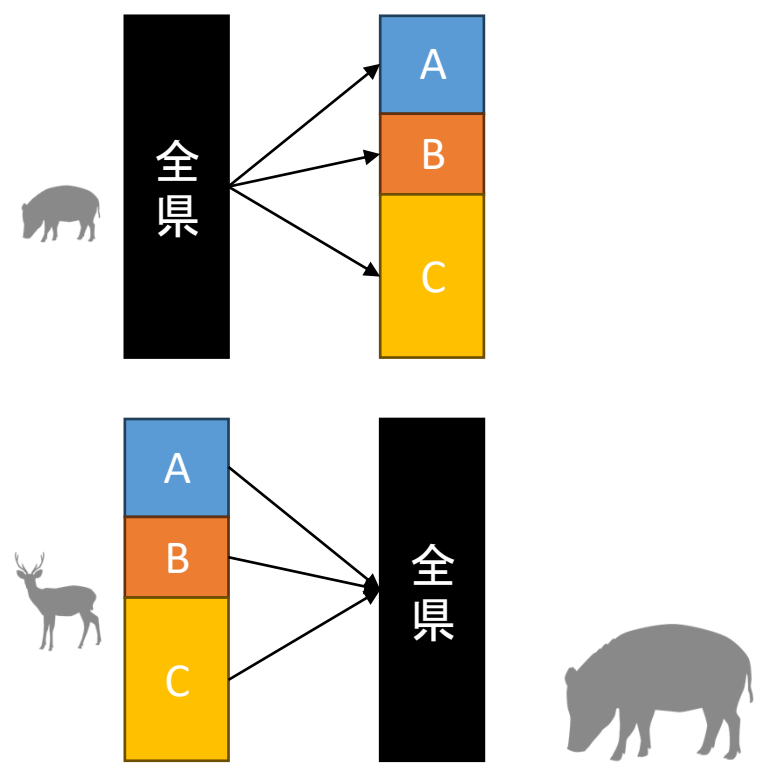
- 令和6年度末：45,703頭(29,979~87,288)
- 近年減少傾向



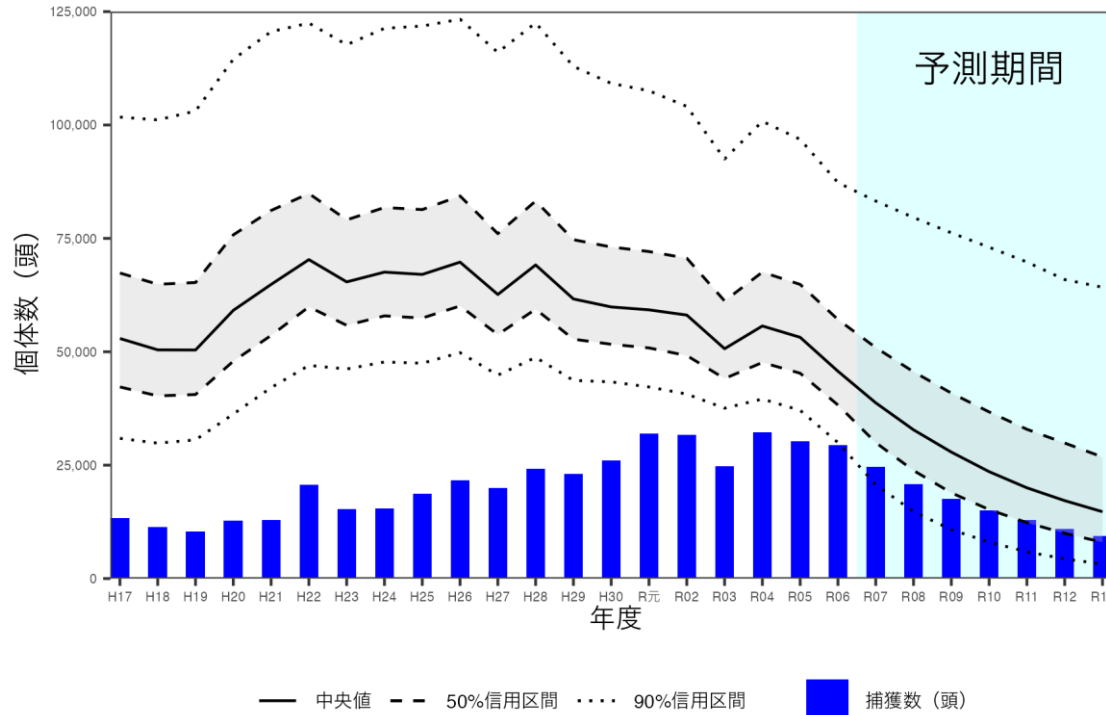
# イノシシ：地域別の個体数と生息密度



- 南部で生息密度が高い
- 全県の個体数を面積や密度指標の比率で分配して地域別の個体数を求めた  
(ニホンジカは各地域の個体数を合計して全県の個体数を求めた)



# イノシシ：現在の捕獲率を維持できた場合



- ▶ 減少傾向に推移、令和13年度には14,732頭（中央値）と予測
- ▶ 環境省の半減目標（令和10年度に32,704頭）が達成される



# ニホンジカとイノシシの推定結果の違い

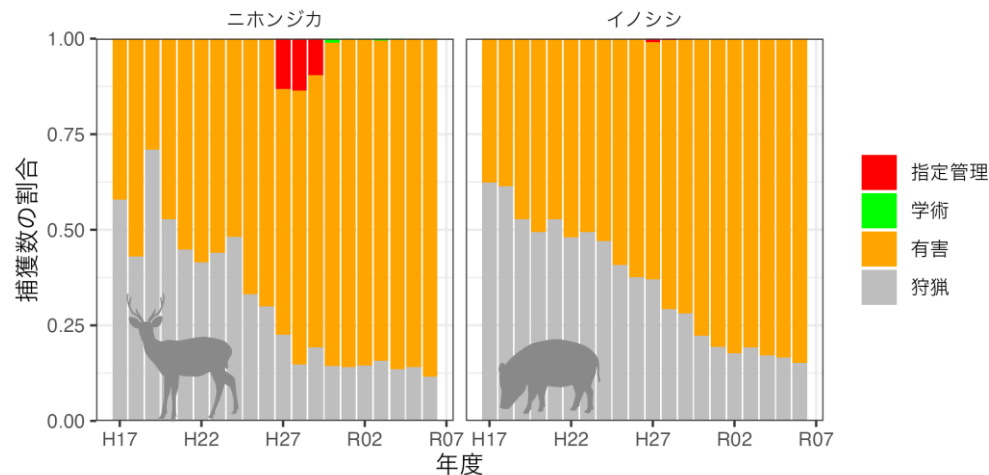
## ◆ イノシシの推定精度が悪い

✓ ニホンジカ、90%信用区間：43,023～72,911頭

✓ イノシシ、90%信用区間：29,979～87,288頭

## ◆ 推定の精度はデータに依存

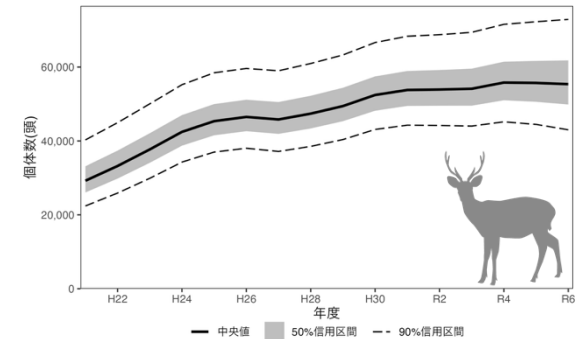
- 特に**イノシシは野外調査がない**ため、出猟カレンダー依存の現状では精度は良くなる**かもしれない**
- 地域レベルでは特に**実態と乖離した結果**になっているかも？
- 乖離が大きそうな地域は別途最新手法によるモニタリングが有効



# まとめ

## ◆ニホンジカ

- 令和6年度末の個体数：55,377（43,028～72,911）頭
- 個体数のトレンドは地域ごとに異なる
- 環境省半減目標を達成するためには、1.9倍の捕獲率での捕獲が必要



## ◆イノシシ

- 令和6年度末の個体数：45,703（29,979～87,288）頭（中央値）
- 全体としては減少傾向
- 環境省半減目標を達成することができそう
- ニホンジカと比較して精度が悪い

